

2016年度

環境活動レポート

2016年10月～2017年9月

発行 2017年 12月 28日

E P K

Ecology & people to kindness

有限会社 イーペック牛久

茨城県牛久市正直町 1375 番地

E-mail: epk-1215@bz01.plala.or.jp

<http://www.epk-jp/>

環 境 方 針

〈基 本 理 念〉

私たち有限会社イーペック牛久は、建設発生木材等の再資源化の担い手として、資源循環型社会の形成に貢献します。併せて、事業活動を通じて投入、排出する環境負荷の一層の低減を図ります。

〈行 動 指 針〉

当社は、基本理念の実現に向け廃木材を破碎し木質チップ化することにより、『建設発生木材等の再資源化事業の継続的発展』と『事業活動のなかで環境保全に配慮して行動すること』を経営の最重要課題としてとらえ、次の行動指針を定めます。

1. 建設発生木材等の再資源化製品である木材チップの市場への安定供給に努め、資源循環型社会の形成に貢献します。
又、新たな環境政策課題である新エネルギーへの転換に貢献する為、バイオマス燃料の安定供給にチャレンジします。
これの実現のための、具体的課題として次の事に取り組んでまいります。
 - ① 生産設備の突発故障による製造停止の防止
 - ② 総物資投入量の増加
2. 木材チップの製造の事業活動において、環境負荷を低減し、環境汚染を未然に防止する為、次の事に取り組んでまいります。
 - ①電力使用量の削減
 - ②化石燃料(主として軽油)使用量の削減
上記①, ②の活動を通して二酸化炭素排出量の削減を図ります。
 - ③産業廃棄物排出ゼロベースの維持
 - ④水資源投入量の管理
 - ⑤環境物品等購入の推進
3. エコアクション21の取組により、環境保全実績の継続的な改善を図ります。
4. 事業活動に於いて適用される『廃棄物処理法』をはじめ、環境法規制等を遵守します。
5. 環境保全関連の行政機関・団体などの環境保全施策に協力すると共に、地域社会における環境保全活動に対し積極的に参加し、社会貢献活動を推進します。
6. 環境教育、訓練の実施により、全ての構成員に環境保全状況の知識・認識の向上を図ります。
7. 環境方針の公開等必要な情報の開示に努めます。

制定 2005年6月1日

改訂 2010年10月1日

有限会社イーペック牛久

代表取締役 新妻 章弘

1、組織の概要

(1) 事業所名及び代表者

有限会社イーペック牛久
代表取締役 新妻 章弘

(2) 所在地

茨城県牛久市正直町字守山 1375 番地

(3) 環境保全関係の責任者及び担当者連絡先

環境管理責任者	工場長	小林 弘卓	TEL029-875-1215 FAX029-875-1210
部門長（事務所）	総務部	長沼 美智子	同上
部門長（製造）	製造部	備後内 翔太	同上
部門長（保全）	保全部	今村 明秀	同上

(4) 事業内容

木材チップ製造、産業廃棄物処理業（木くず破砕中間処理）
一般廃棄物処理業（木くず破砕処理）
産業廃棄物収集運搬業（収集車 4 台）

(5) 事業規模

活動規模	14 年度	15 年度	16 年度
原材料投入量（中間処理量）	53,671 t	57,961 t	56,142 t
売上高	363 百万円	415 百万円	418 百万円
従業員数	17 人	17 人	18 人
工場床面積	1,550 m ²	1,550 m ²	1,550 m ²
敷地面積	19,000 m ²	19,000 m ²	19,000 m ²
産業廃棄物収集運搬業 積み替え保管施設			428 m ² (保管上限 64.8 m ³)

注：原材料投入量（中間処理量）及び売上高は、各会計年度（10月～9月）の実績を、従業員数及び工場床面積は、各期末日現在の状況を示す

2、対象の範囲

(1) 事業活動：事業内容に同じ

(2) 対象事業所：本社工場（茨城県牛久市正直町字守山 1375 番地）
積み替え保管施設（埼玉県八潮市大字西袋川西 767 番地 5）

(3) レポートの対象期間及び発効日：2016 年 10 月 1 日～2017 年 9 月 30 日

2017 年 12 月 28 日発行

《産業廃棄物処理業に係る情報公開》

(1) 組織の概要

ア、設立年月日：平成 14 年 1 月 25 日
 イ、資本金：800 万円
 ウ、売上高：418 百万円
 エ、組織図：別図 1

(2) 許可の内容

産業廃棄物処分業 茨城県

許可番号：0821084550
 許可年月日：平成 27 年 4 月 22 日 有効年月日：平成 34 年 4 月 21 日
 事業の範囲：木くず、金属くず 中間処分（破碎）

産業廃棄物収集運搬業 茨城県

許可番号：00801084550
 許可年月日：平成 27 年 4 月 22 日 有効年月日：平成 34 年 4 月 21 日
 事業の範囲：積み替え保管を除く。廃プラスチック類（自動車等破砕物及び石綿含有産業廃棄物を除く。）紙くず、木くず、繊維くず、金属くず、（自動車等破砕物を除く。）ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くず（自動車等破砕物及び石綿含有産業廃棄物を除く。）がれき類（石綿含有産業廃棄物を除く。）

産業廃棄物収集運搬業 千葉県

許可番号：01200084550
 許可年月日：平成 29 年 7 月 3 日 有効年月日：平成 36 年 7 月 2 日
 許可の範囲：積み替え保管を除く。廃プラスチック類（自動車等破砕物を除く）、紙くず、木くず、繊維くず、金属くず（自動車等破砕物を除く）、ガラスくず、コンクリートくず及び陶磁器くず（自動車等破砕物を除く）、がれき類、（これらのうち特別管理産業廃棄物であるものを除く。）
 ※「石綿含有産業廃棄物を含む」の記載のない種類については、石綿含有産業廃棄物を収集・運搬できない。

産業廃棄物収集運搬業 埼玉県

許可番号：01110084550
 許可年月日：平成 29 年 7 月 25 日 有効年月日：平成 36 年 6 月 26 日
 許可の範囲：積み替え保管を含む。廃プラスチック類、紙くず、木くず、繊維くず、金属くず、ガラスくず・コンクリートくず（がれき類を除く。）及び陶磁器くず、がれき、以上 7 種 石綿含有産業廃棄物は除く。
 積み替え保管できる産業廃棄物の種類
 廃プラスチック類（廃量に限る。）、紙くず（廃量に限る。）、木くず、繊維くず（廃量に限る。）以上 4 種類

《産業廃棄物処理業に係る情報公開》

産業廃棄物収集運搬業 東京都

許可番号 : 13-00-084550

許可年月日 : 平成 29 年 6 月 18 日 有効年月日 : 平成 36 年 6 月 17 日

許可の範囲 : 積み替え保管を除く。廃プラスチック類、紙くず、木くず、繊維くず、金属くず、ガラス・コンクリート・陶磁器くず、がれき類、(以上 7 種類)

産業廃棄物収集運搬業 神奈川県

許可番号 : 01400084550

許可年月日 : 平成 25 年 9 月 9 日 有効年月日 : 平成 30 年 9 月 8 日

許可の範囲 : 積み替・保管を除く。廃プラスチック類、紙くず、木くず、繊維くず、金属くず、ガラスくず、コンクリートくず・陶磁器くず、がれき類

※ 取扱う産業廃棄物は、特別管理産業廃棄物であるものを除く。

産業廃棄物収集運搬業 栃木県

許可番号 : 00900084550

許可年月日 : 平成 27 年 3 月 31 日 有効年月日 ; 平成 32 年 3 月 20 日

許可の範囲 : 積替えを除く。廃プラスチック類、紙くず、木くず、繊維くず、金属くず、ガラスくず、コンクリートくず及び陶磁器くず、がれき類

※産業廃棄物の種類は、特別管理産業廃棄物であるものを除く。

産業廃棄物収集運搬業 群馬県

許可番号 : 01000084550

許可年月日 : 平成 27 年 11 月 12 日 有効年月日 : 平成 32 年 11 月 11 日

許可の範囲 : 積み替え保管を除く。廃プラスチック類、紙くず、木くず、繊維くず、金属くず、ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くず、がれき類

《産業廃棄物処理業に係る情報公開》

(3) 施設の状況

施設の種類	処理能力	処理方式
破砕施設	120 t/日 (8時間)	高速回転による破砕
破砕施設	80 t/日 (8時間)	低速回転による破砕

施設の種類	面積	保管上限
産業廃棄物収集運搬業 積み替え保管施設	428.33 m ²	64.8 m ³

処理工程図 : 別図2

(4) 保有車両 (産業廃棄物収集運搬車両)

脱着装置付コンテナ専用車	最大積載量 11,600 k g	1 台
脱着装置付コンテナ専用車	最大積載量 11,700 k g	1 台
脱着装置付コンテナ専用車	最大積載量 3,750 k g	1 台
キャブオーバ	最大積載量 14,000 k g	1 台

(5) 収集運搬実績・処理実績・処理料金

収集運搬実績	: 2016年10月～2017年9月	5,288 t
処理実績	: 2016年10月～2017年9月	56,142 t
処理料金	: 7,400 円/t 程度	

(6) 事業計画の概要

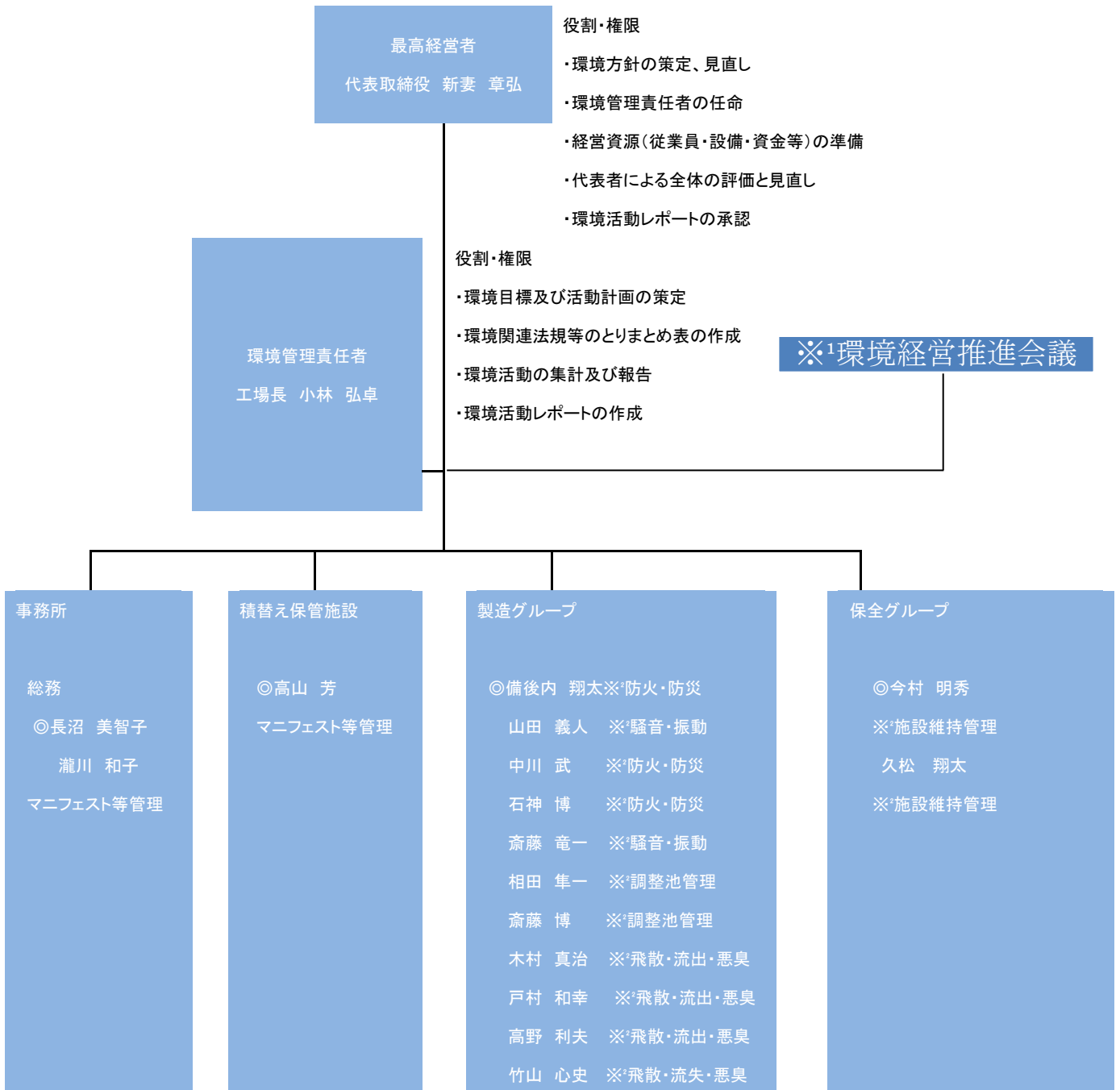
建設発生木材や生木等を収集、破砕 (中間処理) のうえ木材チップを製造し、バイオマスボイラーの燃料、建材及び製紙の原料等としてリサイクル需要先へ供給することで、資源循環型社会の形成に貢献することを経営の最重要課題といたしております。

別図 1

ea21 推進組織図

改訂 2017 年 9 月 30 日

総従業員数 18 人



◎は各部門長・・・役割・権限（自部門への環境目標、及び活動計画の周知）

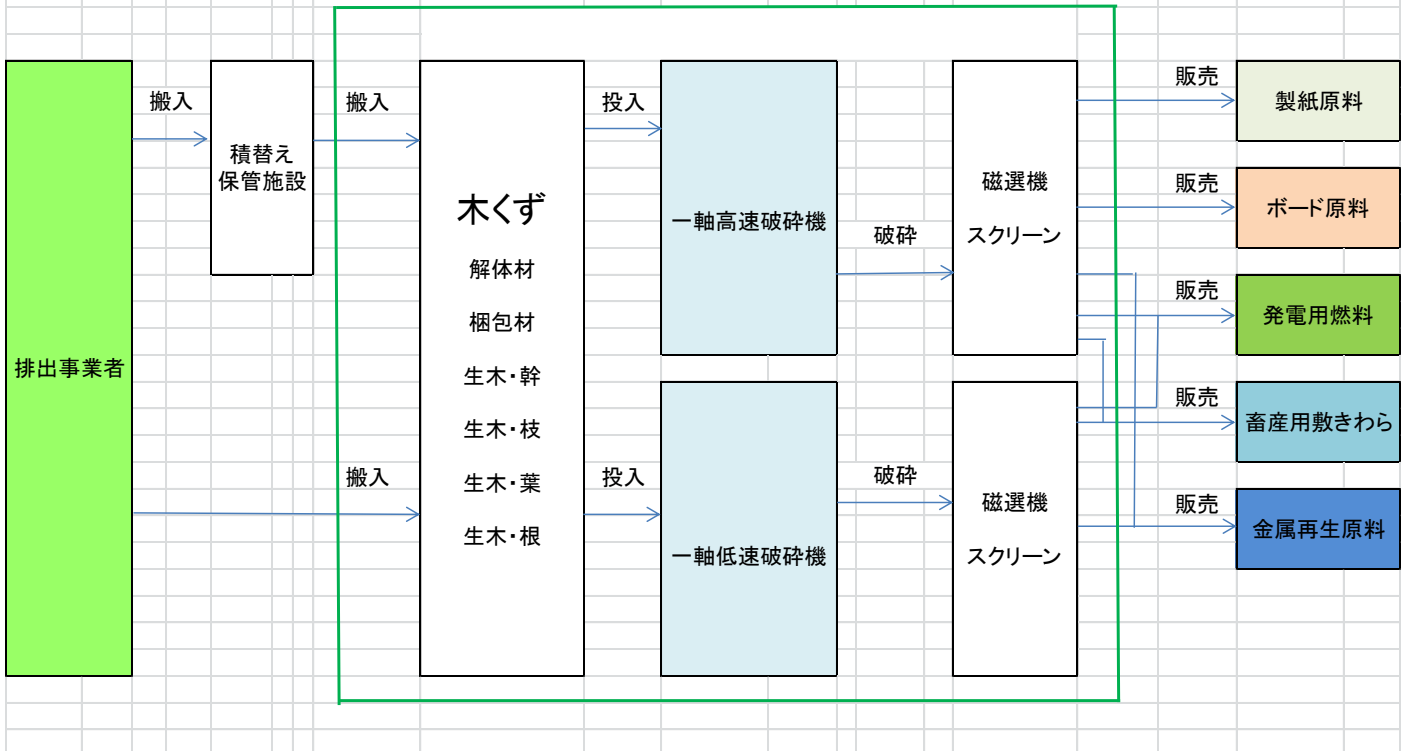
各部門従業員・・・役割・権限（活動計画の遂行、問題点の是正処置）

※¹ 環境経営推進会議は必要に応じて工場長が招集し、構成メンバーは、最高経営者、環境管理責任者及び各部門長とする。

※²は牛久市との公害防止協定に定める各遵守項目の実施責任者である。

産業廃棄物(木くず)の処理工程図

有限会社イーパック牛久



平成28年 10月～平成29年 9月		一連の処理の行程		有限会社イーベック牛久		
受け入れ	→	木くず 56,142t(100%)	→	破碎処理 56,142t (100%)	売却	A社(製紙用原料として利用) 394t(0.7%)
					売却	B社(製紙用原料として利用) 597t(1.1%)
					売却	C社ボード用原料 16,122t(28.8%)
					売却	D社発電用燃料 2,725t(4.9%)
					売却	E社発電用燃料チップ販売商社 32,160t(57.3%)
					売却	F社畜産敷きわら用 3,640t(6.4%)
					売却	G社金属再生用(木くずに付着し、搬入された金属) 504t(0.8%)
受入量 56,142t(100%)	保管量500t	持出量 56,142t(100%)				

3、環境への取組

(1) 環境への貢献と主な環境負荷の実績

当社製品は、製紙・建材の再生原料及びバイオマスボイラー燃料等として全量リサイクルされており、製品供給先において、次表の二酸化炭素削減効果がある。

項目	単位	13年度	14年度	15年度	16年度
二酸化炭素削減効果	t-co2	35,486	33,276	35,935	34,808

(注) 木材チップ 1 t あたり CO₂ 削減効果 = 620 k g - CO₂

一方、当社の事業活動において生じる主な環境負荷は、次表のとおりである。

なお、16年度二酸化炭素実排出係数は、2015年度大和ハウス工業（株）の調整後排出係数 0.000549 t - CO₂/k W h を使用した。

項目		13年度	14年度	15年度	16年度
温室効果ガス排出量 注（ ）内は、発生 源別排出量	二酸化炭素 k g - CO ₂	691,397	714,799	803,514	875,396
	（購入電力） k g - CO ₂	(233,964)	(267,753)	(269,822)	(305,890)
	（軽油） k g - CO ₂	(446,474)	(436,506)	(525,144)	(562,548)
	電力軽油割合	98.4%	98.6%	99%	99%
受託した産業廃棄物 処理量	収集運搬量	4,178 t	2,937 t	3,685 t	5,288 t
	中間処分量	57,236 t	53,671 t	57,961 t	56,142 t
	内、再資源化量	57,236 t	53,671 t	57,961 t	56,142 t
	中間処分後の産廃処分量	57,236 t	53,671 t	57,961 t	56,142 t
	内、再資源化量	57,236 t	53,671 t	57,961 t	56,142 t
廃棄物総排出量	一般廃棄物	1.89 t	1.73 t	1.40	1.34
	産業廃棄物	0 t	0 t	0 t	0 t
総排水量	公共用水域	2,688m ³	1,809m ³	1,893m ³	2,627m ³
	下水道	0m ³	0m ³	0m ³	0m ³
水使用量	上水	0m ³	0m ³	0m ³	0m ³
	地下水	2,688m ³	1,809m ³	1,893m ³	2,627m ³
化学物質使用量		0	0	0	0

(2) 環境への取組の概要

自然エネルギーの有効活用及び温室効果ガス排出抑制対策として平成25年10月に事務所に売電用太陽光発電パネルを設置した、その結果、2014年度 7,596 k w h、2015年度 9,434 k w h、2016年度 6,765 k w h の電力を発電することができた。

以上の環境への貢献と主な環境への負荷状況及び環境への取り組みを踏まえて環境方針に沿って、次の環境目標及び次項の環境活動計画を設定し取り組んだ。

(1) 温室効果ガスの削減に寄与するため、製品の安定供給を維持するための環境目標

- ①生産設備の突発故障の防止
- ②原材料投入量の増加

(2) 製品生産に投入するエネルギー及び水資源の削減等に関する環境目標

- ①電力使用量の削減
- ②軽油使用量の削減
- ③水資源投入量の管理
- ④産業廃棄物排出ゼロベースの維持
- ⑤環境物品等購入の推進

4、環境目標とその実績

	単位	11年度	12年度	13年度	14年度	15年度	16年度
		目標上段 実績下段	目標上段 実績下段	目標上段 実績下段	目標上段 実績下段	目標上段 実績下段	中長期目標上段 実績下段
(1) 生産設備突発故障の防止	件	7	9	6	6	6	6
		11	4	14	16	6	3
(2) 予防・改良保全の実施	件	42	45	45	45	45	45
		32	20	29	38	40	38
原材料投入量の増加	t	40,000	42,000	42,000	58,000	58,000	58,000
		46,199	52,922	57,236	53,671	57,961	56,142
電力使用量の削減 (原単位あたり)	kwh/t	11.50	11.20	11.20	9.68	9.68	9.68
		10.98	10.70	9.68	9.56	9.48	9.92
軽油使用量の削減 (原単位あたり)	L/t	3.60	3.50	3.60	2.96	2.96	2.96
		3.36	3.10	2.96	3.10	3.45	3.79
二酸化炭素排出量の削減 (原単位あたり)	Kg-CO2/t	14.22	12.62	12.62	12.07	12.07	12.07
		13.89	12.90	12.07	13.31	13.86	15.59
水資源投入量の管理	m3	1,400	2,900	2,900	2,710	2,710	2,710
		2,888	4,309	2,688	1,809	1,893	2,627
産業廃棄物排出ゼロの維持 (排油を除く)	t	0	0	0	0	0	0
		0	0	0	0	0	0
環境物品等購入の推進 (現状把握/11年度より数値化)	%	100	100	100	100	100	100
	円	25,045	29,122	53,238	61,441	51,834	15,332
	%	リスト作成	50	100	100	100	100

(注¹) 弊社では化学物質を使用しておりませんので、環境目標に化学物質削減を掲げておりません。

(注²) 環境物品は次の 15 品目が対象です。

- ①クリアホルダー ②フラットファイル ③パイプ式ファイル ④コピー用紙 ⑤スティックのり
- ⑥クリップケース ⑦製本テープ ⑧ネームランドテープ ⑨ボールペン ⑩消しゴム
- ⑪修正テープ ⑫付箋 ⑬文書保存箱 ⑭賞状ラック ⑮ボードマーカー

5、主要な環境活動計画の内容

環境方針NO	環境目標及び環境活動計画	単位	年度目標	年度実績	評価
1	生産設備の停止ロスの防止 ※日常点検と異常時即予防保全の実施 ※保全作業予定の立案 ※予防保全の実施記録	故障件数 予防保全実施件数	6 件以下 45 件以上	3 件 38 件	○日常点検、異常時即予防保全を確実に実施したことで、突発故障による生産ラインの停止を3件に抑えることができた。
1	原材料投入量の増加 ※既存顧客の維持、管理 ※情報収集の強化 ※営業日誌・営業報告等で社長に報告	原材料の受け入れ総量 t	58,000 t	56,142 t	○今年度は6月頃から関東圏で建設廃材の木くずの発生が増え、木質チップの需要を上回り、在庫超過の状態が続く恐れから、自主的に受け入れを制限した、その為数的には届かなかったが目標は達成できたこととする。
2	電力使用量の削減 ※不使用設備電源OFFの定着 ※破碎機の連続運転による始動時に掛かる高負荷の軽減 ※屋外夜間照明の節約	k w h / t	9.68	9.92	×日常活動は継続して行ったが、重機等の盗難抑止の為、照明設備を増設したこと、破碎する材料に生木が多かったことで破碎機の負荷が多くなり電力使用量が抑えられなかった。今後も材料を確保するうえで、生木の割合が増えることが予想されるが電力使用を必要最低限に抑える。
3	軽油使用量の削減 ※重機等アイドリングストップの励行 ※燃費の良い重機をメインで使用する ※重機ごとの燃料使用量の記録	ℓ / t	2.96	3.79	×今年度運搬車両を増設したこと、生木の前処理にバックホーを使用することが増えた為使用量の増加につながった。次年度も日常活動は継続し必要最低限の使用量に抑える。
4	水資源の投入管理 ※不使用時の節水の徹底 ※揚げ水量の記録	m3	2,710	2,627	○日常活動の実行により目標を達成できたが、洗車台数が増えたことで前年度より増加した。
5	産業廃棄物排出ゼロベースの維持 ※材料の荷卸し時木くず以外の異物の持ち帰りの徹底	t	0	0	○お客様への周知と荷受け時の異物の持ち帰りを徹底することで排出ゼロを維持できた。
6	環境物品等購入の推進	%	100	100	○事務用品に関し通販カタログ・ネット通販を利用し、グリーン商品を購入できた。

評価欄：符号◎は目標大幅達成、○は目標達成、△は改善されているが更に徹底を要する、×は目標未達成を表す。

6 環境活動計画の取り組み結果、次年度の取り組み内容

(1) 環境活動計画の取り組み結果とその評価

16年度の環境目標及び環境活動計画に基づく取り組み結果及び評価は、上表評価欄のとおりである。

(2) 次年度の取り組み内容

1) 温室効果ガスの削減に寄与するため、製品の安定供給を維持するための環境目標

自社車両による材料集荷に力を入れるとともに、生産設備を常に整備し、材料の受け入れ態勢を整え、また、生産設備の整備に必要な知識や技術をより多くの従業員が身につけるよう努力し、製品の安定供給にこれまで以上に力を入れ取り組む。

2) 製品生産に投入するエネルギー及び水資源の削減等に関する環境目標

消費エネルギーの64%を占める軽油使用量の削減に関しては、運搬車両の増車や、前処理に必要な生木材の集荷など木質チップの製造工場という性質上当然のことではありますが、タイヤの空気圧のこまめなチェックや配送ルートの見直しなど、できることを洗い出し少しでも削減できるよう取り組む。また、消費エネルギーの35パーセントを占める電力使用量の削減に関しては、夜間照明の自動化や、設備に使用されているVベルトを節電タイプのものを取り入れるなど電力使用量削減に努める。

7、環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果並びに違反、訴訟の有無

(1) 遵守状況の確認及び評価の結果

関連する法規制及び遵守状況。

適用される法規制	適用される事項（施設・物質・事業活動）	遵守状況
騒音規制法	破砕機	○
浄化槽法	浄化槽	○
廃棄物処理法	産業廃棄物処理施設	○
消防法	指定可燃物の保管・消防設備の維持管理	○

(2) 違反、訴訟等の有無

環境関連法規の違反、訴訟等はありません。なお、関係当局などからの違反等の指摘は、過去3年間ありません。

8、代表者による全体評価と見直しの結果

今年度は電力使用量と軽油使用量の項目で目標達成できませんでした。車両を増車したこと、破碎機に負荷の大きい生木を多く処理したことが影響しました。また、木質チップを運搬する際に車両についた埃を洗い流してから退場するよう出入りする運送会社に働きかけたこともあり前年より水資源使用量が増加しました。

この結果から 2017 年度以降の目標を設定し、今後の事業活動を発展的に継続していくための大きな課題として受け止め、いま一度初心に帰り全社員で考え、一丸となって環境負荷の低減という責任を果たして参ります。

2017 年度以降の目標

NO	環境方針	単位	2016 年度実績	2017 年度目標	2018 年度目標	2019 年度目標 (中期目標)
1	生産設備の突発故障の防止	件	3 件	3 件以内	3 件以内	2 件以内
2	予防保全の実施	件	38 件	45 件	45 件	45 件
3	原材料投入量の増加	t	56,142 t	58,000 t 以上	58,500 t 以上	59,000 t 以上
4	電力使用量の削減	k w h / t	9.92 k w h / t	2016 年度実績△1% 9.82 k w h / t	2016 年度実績△1.5% 9.77 k w h / t	2016 年度実績△2% 9.72 k w h / t
5	軽油使用量の削減	k w h / t	3.79ℓ / t	2016 年度実績△1% 3.75ℓ / t	2016 年度実績△1.5% 3.73ℓ / t	2016 年度実績△2% 3.71ℓ / t
6	水資源の投入管理	m ³	2,627 m ³	2016 年度実績△1% 2,600 m ³	2016 年度実績△1.5% 2,588 m ³	2016 年度実績△2% 2,570 m ³
7	産業廃棄物排出ゼロ	t	0 t	0 t	0 t	0 t
8	環境物品等購入の推進	%	100%	100%	100%	100%

なお、二酸化炭素排出係数は 2015 年度大和ハウス工業（株）の調整後排出係数 0.000549-CO₂/k w h を基準とする。

有限会社イーパック牛久
代表取締役 新妻 章弘